

【京都大学人間・環境学系（大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 比較文明論講座 多文化複合論分野）テニュアトラック講師 公募】

令和4年11月7日

職種	講師（テニュアトラック制による若手重点戦略定員）
募集人員	1名
所属および勤務場所	所属教員組織：京都大学人間・環境学系 所属教育研究組織：京都大学大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 比較文明論講座 多文化複合論分野 (令和5年4月1日から改組により東アジア文明講座になります) (所在地：京都市左京区吉田二本松町)
専門分野	東アジア人文学（日本および朝鮮の近代哲学を中心とするが、中国も含む）
職務内容・担当授業科目など	(1) 学部生・院生の教育研究活動を活性化するための事業を企画・運営・実施すること。 (2) 総合人間学部における教育と研究指導。 ① 専門研究領域の講義や演習など：授業科目名「トランス東アジア文化思想論」など。 ② 卒業研究・卒業論文の指導。 (3) 全学共通科目（朝鮮語）の担当は義務ではないが、朝鮮語教育に関連する諸業務。 (4) 専門研究領域における研究（エフォート率50%程度）。 (5) 学際教育研究関連の業務を担当し、学際連携の教育・研究を推進すること。 ① 総合人間学部および人間・環境学研究科において学際連携授業科目を企画・運営・実施すること。 ② 総合人間学部および人間・環境学研究科において学際連携研究プロジェクトを企画・運営・実施すること。
着任時期	令和5年5月1日（または同日以降できるだけ早く、同年度中）
応募資格	次の条件のすべてを満たすこと。 (1) 専門分野における博士の学位を有するか、またはこれと同等の研究業績を有すること。 (2) 学際連携教育・研究の能力と意欲を持つこと。 (3) 当該専門分野において十分な研究遂行能力があること。 (4) 学部での教育・指導を行う能力を有するとともに、これに積極的に取り組み大きく貢献できること。 (5) 朝鮮語教育に関する能力と意欲を有し、テニュア移行後に積極的に取り組み大きく貢献できること。 (6) 国籍は問わないが、教育・研究や学内諸業務を担うに十二分な日本語運用能力を有すること。
任期	任期6年のテニュアトラック教員（更新なし）。任期期間中に当該教員の教育研究業績等を審査して優れた業績を有すると認めた場合に、任期の定めのない教員として雇用する。 なお、原則着任後2年が経過してから6か月以内に中間審査を行い、テニュアトラック期間満了の6か月前までにテニュア取得の最終審査を行うものとなっているが、講座等から要望があった場合は審査の時期を早めることができるものとする。
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
試用期間	あり（6ヶ月）
社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入

提出書類	<p>(1) 履歴書（様式自由。高等学校卒業以降の学歴、職歴を記載。電話番号、電子メールアドレス、所属学会も記載） 5部</p> <p>(2) 研究業績一覧（著書、論文（査読の有無を明記）、学会発表、その他に分け、発表順に記載。出版予定のものについては、出版証明書等を添えること。また、科学研究費補助金など競争的資金の獲得状況についても記載すること） 5部</p> <p>(3) 主要著書・論文の別刷り（コピーでも可）5篇以内（それぞれに日本語 400字程度の要約をつけること。ただし、著書・論文の使用言語が日本語・英語以外の場合は、日本語 1,000字程度の要約をつけること）各5部</p> <p>(4) これまでの研究の概要と今後の計画を日本語 2,000字程度で述べた文章 5部</p> <p>(5) 学際連携の教育・研究に関する抱負を日本語 2,000字程度で述べた文章 5部</p> <p>(6) 総合人間学部における授業に対する抱負・意見を日本語 1,000字程度で述べた文章 5部</p> <p>(7) これまでの朝鮮語教育に関する実績および本学での朝鮮語教育への貢献の展望を朝鮮語 1,000字程度およびその日本語訳で述べた文章 5部</p> <p>(8) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先 1部（電話番号・電子メールアドレス）</p> <p>*提出書類は原則として返却しませんが、著書については、書類郵送時に申し出があれば、着払いにて、審査終了後に返送します。</p>
書類送付先	<p>〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学人間・環境学系長宛</p> <p>*提出方法は郵送に限ります。封筒または封緘した包みの表に「多文化複合論分野（トランス東アジア文化思想論）教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便にて送付してください。</p>
応募締め切り	令和4年12月19日（月）必着
選考方法	提出された書類に基づき一次選考を行い、その後、面接による二次選考を行います。面接の際には模擬授業を行っていただくことがあります。面接の際の旅費・滞在費等は応募者の自己負担とします。ただし面接をオンラインで行う場合もあります。選考結果は最終決定後に通知します。
問合せ先	<p>京都大学 大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 比較文明論講座 小倉 紀蔵</p> <p>京都大学 大学院人間・環境学研究科 共生人間学専攻 思想文化論講座 安部 浩</p> <p>E-mail : ogura.masanori.3s@kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください。）</p> <p>abe.hiroshi.7w@kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください。）</p> <p>*問い合わせがある場合は上記2つのアドレス宛にお送りください。電子メール以外による問合せは受け付けません。メールの表題は、「多文化複合論分野教員公募 について」としてください。</p>
男女共同参画	京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。
その他	<p>提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</p> <p>人間・環境学研究科については下記のwebページをご覧ください。</p> <p>https://www.h.kyoto-u.ac.jp/</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p>